

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	農業振興基本指針改訂事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	06	01	03	03	66
政策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）		主管課	農業振興課				
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	農業者	意図	本市農業に対応した指針を定めていく。
事業内容	農業生産者に動向調査し、本市の農業の指針の改訂を検討する。			
事業開始から現在までの状況変化	本市農業を取り巻く環境の変化（特に新川耕地地区）が見受けられるので指針を農業者と協議する必要があることから、各農業団体等への協議を行ったところ改訂には至っていない。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	動向調査				
②	対象農業者				人		
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ◆本市農業を取り巻く環境の変化に応じて指針の一部を改正していくため各種農業関係団体や組合等に意見徴収や動向調査を行いながら都市農業に対応した農業振興の指針について農業者との協議を行ったが、改訂するには至らないとの結果であった。
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	各種農業関係団体や組合等に意見徴収や動向調査を行いながら都市農業に対応した農業振興の指針について農業者との協議を行ったが、改訂するには至らないとの結果であった。
事務事業の総コスト(a=b+c)			659,200	
事業費(b)(円)				
うち一般財源				
職員給与費(c)(円)			659,200	
人役・職員(人)			0.10	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	農業者との意向調査	③取組における課題(Check)	多様化する農業環境に適した指針の方向性を示すことが生産農家に対して多様化に対応した指針とするのが難しい。
②H30に実施した取組(Do)	各種農業者団体や組合との協議や意向調査	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	環境の変化や多様化する農業に対応した指針を検討していく。